

平成27年2月25日(水)

各チーム指導者各位

長崎県小学生バレーボール連盟

会 長 中村 昭夫

指導上の注意事項(重大事項)

向春の候、寒気も少しずつ緩みはじめましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

各チームの指導者の皆様方におかれましては、日頃より小学生バレーボールのご指導に熱心に取り組んでいただき感謝しております。

さて、チームも5年生以下の新チームへと移行し、指導におきましては、子どもの心身の成長と健全育成を根本としてあたっていただいていることと思います。しかしながら、体罰や暴力の根絶を日頃より呼びかけて徹底していただいているにも関わらず、残念なことにまだ、子どもが苦しい状況に置かれるような過度な練習があると時々聞かれます。

日本小学生バレーボール連盟のキャッチフレーズにも、「ど真ん中に子どもがいる日小連」として、ど真ん中に子どもを置き、子どもが組織や大人の犠牲になってはならないことを掲げています。体罰・暴力・暴言は指導ではなく、己の指導力不足を隠す卑劣な手段に過ぎないことを、今一度確認していただきたいと思います。また、指導に熱心になるあまり、練習時間が長くなり、子どもたちの帰宅時間が夜遅くなることがないよう十分注意を払って指導に当たっていただきたいと思います。

そこで、再度指導の在り方を見つめ直し、長崎県の小学生バレーボールへの取り組みの中から、子どもたちが苦しむような体罰や暴力、そして過度な練習等がなくなるようお願いをしたいと思います。

今後も子どもたちがバレーボールを楽しみ、そして、バレーボールの活動を通して心身共に健全に成長していけるような人間性を育てる指導をお願いします。